

# 洛東の丘

～校長室から 洛東生の皆さんへ～  
令和2年10月23日(金)第21号

今週の四字熟語

徹頭徹尾 (テットウテツビ)

最初から最後まで、徹底し一貫していること

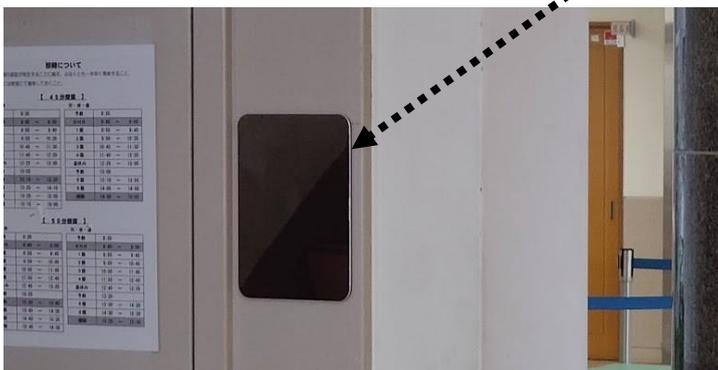
## ♠ 季節の変わり目 体調管理を！！ ♠

今はちょうど過ごしやすい季節かもしれませんが、しかし朝晩は随分冷えてきました。また、最高気温がほとんど上がらない日や、最低気温との差が激しい日などまちまちです。服装での調節が必要となるこの時期、油断をすると体調不良を引き起こしがちです。さらに空気が乾燥し始めウィルスが長時間空气中に浮遊したり、換気がおっくうになり部屋の空気が澱んだり・・・これまで以上に感染防止対策や健康管理についてのセルフチェックが肝要となります。

また、新型コロナウイルスは依然として衰える気配がありません。さらに例年この時期から猛威を振るい始めるのがインフルエンザです。マスクやうがい、手洗い、手指消毒といった習慣が広がっていますので、昨シーズンはインフルエンザの罹患がかなり抑えられたとのことです。また、すでに高齢者へのインフルエンザ予防接種は始まっていますが、今月末から来月初め頃には、皆さんも接種することが可能となります。例年はしていない人も今年は是非接種してください。そして何より大切なのは、体力・気力・免疫力の向上です。規則正しい生活・適切な睡眠・バランスの良い食事など、自身の生活習慣の気配りで整えられることを大事にしてください。



本館1階に出会い頭の衝突防止のために鏡をつけていただきました！



## ☆ヤンキー係☆

私の父は一昨年89歳で他界しました。樺太で生まれ小樽で育ち、戦禍の中徐々に南下し、最後は京都に流れ着いて、洋服の行商などで生計を立てながら母親（私の祖母）や妹たち（叔母）の生活を支えていたようです。私の母と結婚して間もなく、新京極で小さな小さな洋服店（間取り畳2畳程度）を始めました。新京極は京都屈指の繁華街ということで場所は良かったのですが、何せあまりにも小さな店でしたので、大きなそしてオシャレなお店と同じ商売をしていても儲かるはずがありません。扱う商品には随分苦労したようです。Gジャンの背中に刺繍を入れて売ったり、芸能人や漫画などで流行が発生すればいち早くそれを取り入れたり、常に少々・・・いえ随分奇抜な商品を揃えていました。若い皆さんは知らない商品ばかりだと思いますが、ちょっと紹介しておきます。ひょっとすると皆さんのお父さんやお母さんの中でご存じの方がギリギリおられるかもしれません。

※見方 ◎服の名前（流行のきっかけ）※

◎ツナギ（ダウントウンブギウギバンド）◎チャイナ服（ゴダイゴ）◎特攻服（ある事件）◎長ランにドカン（花の応援団）◎革ジャンに白のドカン（横浜銀バエ）◎ファラオコート（ナメ猫）◎スカジャン（タケノコ族）◎短ランにボンタン（ビーバップハイスクール）  
・・・つまり、すべていわゆる「ヤンキー」の着たがる服ばかりでした。当時は結構有名な店で、「やんぐしょっぴ くめかわ」と言えば、その筋ではまあまあ有名だったと思います。地方の修学旅行生にも人気で、父の店で服を買うことを旅の目的とする「ヤンキー」連中もいたようです。引率の先生方も大変だったようで、ついに修学旅行で訪ずれる多くの学校で「立ち寄ってはいけない店リスト」にエントリーされたらしいです。

私が中学生のとき、友人の一人が「お前はええなあ。親父を越そうと思ったら中卒でええんやろ。俺の両親は二人とも同志社大学出身やし、最低でもそこへ行かんとかあんのや。」と言いました。何を以て「親父を越す」ことになるのかはそれぞれ考え方がありますが、私としては友人の一言は心外でした。実際父は小学校（昔の）しか出ていません。私は大学まで行かせてもらいましたが、今も父親を越えたと思える瞬間はありません。そのときの友人の価値観は「出身校」「生涯学歴」が基準であったのだと思いますが、おそらく彼も今はそんな基準に意味があるとは考えていないでしょう。

しかし一方で、「中卒」「高卒」「短大卒」「大卒」「専門（学校）卒」それぞれで。取れる資格や就ける職業に違いがあるのも事実です。職業に貴賤なし と言います。どんな仕事にも優劣はありません。ただ、もし自分の仕事に誇りや意味を持たずにいると、たとえそれが世間がうらやむような仕事であったとしても、意義を失いただの「作業」になるのかもしれない。仕事というものは、誰かの、または社会の何かに貢献している限り大きな意味を持つものだと思います。皆さんには是非そういったことを踏まえて仕事をしてほしいと思いますし、次の学校を選ぶ際もその先の仕事を想定してほしいと思います。

私の父は、「やんぐしょっぴ くめかわ」で「ヤンキー」の服を50年間売り続けました。ある意味京都の風紀を乱すことに一役買っていたでしょう。しかし、畳2畳の店でどうすれば家族4人を養えるのか知恵を絞り、家族のために半世紀を生きただだと思います。また、時々「今日なあ、昔やんちゃしてた子が、子供連れて おっちゃん、俺も真面目になったんや 言うて来てくれたわ。」と目を細めていることがありました。「ヤンキー係」としてはええ仕事していたのかなと思います。

ちなみに今もGoogleで「やんぐしょっぴ くめかわ」と検索すると父親の写真が出てきます。

